



子どもの権利条例と子どもの参加

「子どもの権利条例」では、子どもの参加する権利について定め、市や市民に、まちづくりや地域の活動などで子どもが意見を表明し、参加する機会を設けるよう努めることを求めています。

子どもが、自らの生活にかかわるさまざまな場面での参加を通して地域や周囲の人々に関わることは、他者との相互理解や意見の調整など子どもの精神的な成長、発達にとって重要であり、次の時代を担う市民を育成することにもつながります。また、子どもに自分の住む地域について知り、考えてもらい、その視点を反映させることは、まちづくりを進めるうえでも重要なことです。

このように、子どもが大人とともに地域の活動などに参加していくためには、今後一層、子どもに対するわかりやすい情報発信など、参加を促す仕組みを整えていくことも必要となってきます。

札幌市からの お知らせ

札幌市では、子どもの権利について、職員が地域に出向いて説明する出前講座を行っています。

- 10人くらいのグループ
- 市内に会場の確保をお願いします。
- 1か月くらい前にご連絡ください。

お申込みは、下記の、
子どもの権利推進課へ

子どもがきらりと輝くまちに

子どもの権利 ニュース

The Rights of the Child

第3号

平成22年10月発行

子どもの成長を 地域全体で見守る

～地域子どもネットワーク「みんなの森」～

中央区の宮の森地区では、小中学校の保護者が中心となり、学校、地域を含めた地域子どもネットワーク「みんなの森」を立ち上げ、子ども向けのイベントなど、さまざまな活動を行っています。



「みんなの森」は、子どもたちが札幌や地域のすばらしさを学びながら、「人間力」を高めることなどを目的に平成17年から、毎年さまざまな活動を行っています。

5年目となる今年度初めての活動は、「未来の映画監督になろう『森の動画づくり』」です。これは、子どもたちが短編映画の作成を通して、表現する力や読み取る力を学習するというものです。映画づくりは、今年の6月26日(土)と27日(日)の2日間にわたって、札幌彫刻美術館を舞台に行われました。子どもたちはプロのカメラマンからビデオカメラの使い方や編集方法を教わり、グループに分かれて、自由にストーリーを考え、演技、撮影、編集を行いました。

演技や撮影は、プロ顔負け(?)で、子どもたちは、いきいきとしながら、ふだん体験したことのないことを楽しんでいる様子でした。

パソコンを使った編集作業で

は、短くまとめるのに苦労していましたが、「このシーンは譲れない。」とみんなが納得するまで話し合う場面もあり、よりよいものを作るという意気込みが感じられました。

参加していた子どもたちは「最初はバラバラだったグループが映画を撮ることで仲良くまとまって、一つのものを作っていくことがとても楽しい。」「来年も参加したい。」とうれしそうに話してくれました。

最終日の発表会では、8グループがお互いの作品を見ながら、うなずいたり、随所で笑いがおきたりと、子どもたちの満足そ



うな表情が印象的でした。

「みんなの森」の会長の小賀聡(こがさとし)さんは、「学校、家庭、地域が連携し、それぞれの足りないところを補い合いながら、子どもの成長を見守ることが大事。今後は地域の子どもの高年齢者をつなぐ場にもしていきたいし、他の地域にも自分たちの活動をみてもらいたい。」と地域が協力し合って子どもを育てていくことの大切さを語ってくれました。

今回の作品は、地域のイベントで上映されるほか、今年10月の第5回札幌国際短編映画祭のプログラムの一つとして、シアターキノで上映されました。('みんなの森'のホームページでも公開予定です。)

皆さんの地域でも子どもと一緒に活動してみませんか。

親子で聞く講演会「おばけのマ〜ルと絵本の世界へ」～絵本で親子コミュニケーション～

日時 10月31日(日)14:00～15:00
場所 札幌市中央図書館3階講堂
参加方法 10/20(水)までに事前申込(抽選150人)
お問い合わせ 札幌市コールセンター
☎222-4894

「おばけのマ〜ル」の話を中心とした親子で楽しめる講演会です。この他、秋の図書館フェスティバルの期間中(10月16日～11月14日)は、市内各図書館で様々な行事を開催します。くわしくは札幌市中央図書館管理課(512-7330)までお問い合わせください。

さっぽろっこ「雪」シンポジウム

日時 11月13日(土)13:00～16:00
場所 ちえりあ(西区宮の沢1の1)
参加方法 定員になるまで受付(先着400人)
お問い合わせ 札幌市コールセンター ☎222-4894

北国札幌らしさを学ぶ【雪】の学習への関心を高めるため、特にスキーに焦点をあて、講演やパネルディスカッションを行います。

札幌市青少年育成大会

日時 11月27日(土)13:30～15:30
場所 かでる2・7(中央区北2西7)
お問い合わせ 札幌市子ども未来局子どもの権利推進課
☎211-2942

様々な分野で活躍する青少年等の表彰のほか、青少年の健全育成に関する講演会を行います。

子どもの権利フェスタ

日時 11月20日(土)10:00～15:30
場所 札幌エルプラザ3階ホール(北区北8西3)
お問い合わせ 札幌市子どもの権利推進課 ☎211-2942

子どもにとって大切な権利について考えるためのイベントです。漫画「義男の空」発行者田中宏明氏による講演会や、子どもたちの活動の発表会などを通じ、子どもの豊かな成長と大人の役割について考えます。

さっぽろこども環境コンテスト2010

日時 11月27日(土)13:00～17:00
場所 札幌エルプラザ3階ホール(北区北8西3)
参加方法 見学者募集は10月下旬頃から
お問い合わせ 札幌市環境計画課
☎211-2877

小中学生による環境活動の発表会。ステージイベントや環境に関する取組の展示なども行います。

三世代交流ひろば

～子どもたちとのふれあいの中で～

NPO法人子育て支援ワーカーズプロジェクト 喜多 洋子

地域の中で、子育て家庭支援の事業を創めて、15年になります。

互いに支えあい心豊かに子育てができる地域社会をつくることを目標に、さまざまな事業を行っています。

昨年、さまざまな世代の人が集まれる三世代交流ひろば「カフェ亜麻人(あまんと)」を麻生商店街、町内会と連携して運営しています。15年の子育て家庭支援事業の中で、核家族化が進み、親子が孤立している現状を痛感し、地域の人が集まれる場所をつくることで、顔の見える関係ができ、もっと地域が豊かになるのではないかと思います。

カフェ亜麻人ではお茶やコーヒーが飲めます。畳のスペースがあり、木の良質なおもちゃがあることから、お子さん連れの親子も安心して遊べる空間になっています。2階にあり、エレベーターで上がるので、初めての方は、ちょっとドキドキしながら、でも勇気をもって入ってきて下さって、本当に感謝しています。

カフェ亜麻人では、職業体験やインターンシップの受け入れもしています。

店内のお掃除やちらしの配布、看板を書いてもらったりもしますが、私たちがどうしてこの場所をつくったか、親御さんたちを支えることで、子どもたちが心豊かに育っていくことを少しでもわかってもらえるといいなと思い、話しています。

最初は緊張している中学生も小さなお子さんと遊ぶのがとても上手で、お子さんのしたいことを尊重し、寄り添って遊ぶ姿は、私たち大人が、学ぶところがたくさんあります。

そして、その姿をみているだけで、とても元気をもらえます。よく、年齢の高い方に、「あなたたちの働いているところを見ているだけで、元気がでるのよ」と言われますが、こんな気持ちにきとなっているのだろうか、と思います。

さまざまな世代の人が交流できる場所で、子どもたちが、さまざまな人、考え方に会い、自分の生き方を親だけでなく、いろいろな人から刺激を受け、また、小さいお子さんや親御さんと触れ合うことで、小さい子を慈しむ心や子育ての大変さや楽しさを少しでも体験していってくれるといいなと思っています。



地域で活躍する子どもたち

児童会館の「子ども運営委員会」

札幌市内にあるすべての児童会館・ミニ児童会館では、子ども運営委員会を設置し、子どもたち自身が、会館利用にあたってのルールづくりや行事の企画などに取り組んでいます。

今回は、今年度、開館20周年を迎えた北野児童会館の子ども運営委員会の取組をレポートします。

開館20周年を迎えた清田区の北野児童会館では、7月10日、記念行事として式典とサマーフェスティバルが開催されました。

記念式典の総合司会や20年を振り返るスライドショーのナレーションを子どもが担当したほか、サマーフェスティバルでの催しに、子ども運営委員会の企画コーナーとして「ひもくじ」を出しました。賞品の選定や装飾など、み

んなでアイデアを出し合った成果もあり、当日は多くの子どもがコーナーに押し寄せました。

子ども運営委員会のメンバーの1人は、「初めは、みんなが違うことを言うので大変。でも話をするうちにだんだん意見がまとまり、協力し合います。みんなで力を合わせて一つのことができて、楽しいです。」と話してくれました。

北野児童会館の子ども運営委員会について、荒木館長は「小学校



3年生から継続して活動している子が多く、チームワークが良い。より良い会館づくりのため、児童会館の中で、リーダー的存在になってほしい。」と期待を込めて話してくれました。

札幌市の子ども参加 子どもの意見を 月寒公園の 再整備に

月寒公園は、市民の憩いの場として広く利用されていますが、開設後約50年が経過し、老朽化が進んでいるため、再整備を計画しています。計画を検討



している札幌市環境局では、市民の意見を幅広く反映させるため、大人だけではなく、子どもからも意見を聞こうと、さまざまな取組を行っています。これまでも、雪遊びイベント「とよひらおもしろスノーパーク」で、計画についてPRし、子どもから意見を聞いたり、子どもの遊び場について大人と子どもが意見交換を行うワークショップを開催しました。

8月19日には豊平区生徒会サミットで、中学生が月寒公園の利用をテーマに話し合いを行いました。職員の説明を聞いたあと、生徒たちがアイデアを出し合い、アスレチックや水遊びができる遊具、施設についての提案のほか、「花や木を

植える体験ができるようにする」、「公園内の動植物の案内表示をつくる」、「ガイドさんをつけてお年寄りと一緒に歩く」などさまざまな提案が発表されました。

参加した生徒たちは、「意見を発表できてうれしかった。」「大人になってもずっと楽しめる公園にしてほしい。」「生徒会で行っている清掃や資源回収などの活動を月寒公園で広げていきたい。」など感想を話してくれました。

今後、環境局では子どもたちの意見も含め、多くの市民の声を参考にしながら、今年度末までに計画をまとめる予定です。